

第一回入試問題

国語

第1回入学選考試験 国語問題

氏名	
受験番号	

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ワープロをたたいていると、理屈抜きに、すらすらと文章ができあがります。すらすらとできあがる、誰にでも書ける文章なんてつまらない、という人はいます。そんな人にかぎって、誰にも分からない、胆汗が口にひるがるような、文章を超えたようなを書くのです。

すらすらと、誰にでも書ける文章というのは、すらすらと、誰にでも分かる思考ということです。私は、思考の基本は、すらすらと、誰にでも分かる、ということだと思います。(Ⅰ)です。(Ⅱ)です。これを、ワープロソフトは、いとも簡単に実現してしまうのです。(a)、ワープロソフトが生まれ、普及しなかったならば、思考と書くことの、思考―書くこと―書く道具の、強いつながりについて、これほど明確にいえなかったのではないのでしょうか。

私は、素晴らしく書きやすい万年筆に出会ったとき、しばしば、万年筆が考えている、という実感をもったことがあります。(b)、万年筆は、進化しません。しても、わずかです。それに、どんな使いやすいものでも、二、三冊書くと、ペン先から駄目になります。(c)、恐慌状態です。新しいのは、使いやすくなるまでに、相当時間がかかります。時間をかけたからといって、書きやすくなる保証はありません。私は、ある本のできあがりが悪いのは、つい、万年筆のせいである、と断言したくなつたほどです。

ワープロソフトには、こんな経験はありません。(d)、どんどん進化していきます。新しいものにも、すぐに慣れ、慣れるにしたがつて、ますます具合がよくなります。

ワープロソフトを使うのと、使わないのでは、書くことに、考えることに、(A)が生まれます。誰でもが、自在に考え、自在に書くことができる時代が、情報社会の特徴だ、ということを強調しました。情報社会は、コンピュータの出現、進化、普及なしには考えられません。その、小さな先兵が、ワープロソフトなのです。私は、筆も、鉛筆も、万年筆も好きです。しかし、それらとは、何か本質的に違う思考機械が、ワープロソフトである、と断言したく思います。

③ 書くとよく分かるのは、思考の欠陥です。(Ⅲ)です。いやもおうもありません。赤面、ということになります。

ところが、ワープロソフトで書くと、かなり多くの欠陥が消えるのです。これは、誰もが、認めるところでしょう。しかし、そうだとしても、ワープロソフトは、機械だから、書く内容が、(Ⅳ)で一面的になる、(Ⅴ)になる、という人がいま

す。とんでもない。

ワープロソフトこそ、谷崎潤一郎ばりの、くねくねした文章も、難なくこなしてしまふのです。蓮實重彦のような、^④読点のない文章だって、軽々とやっつてのけるのです。倉橋由美子のように、情感をばつさり切り落としたようなのも、もちろん、書けるのです。などとしようと、ワープロソフトが自動筆記のように聞こえますが、もちろん、書き手が、ワープロソフトで書くのです。しかし、万年筆で書くと、こうはやすやすといきません。

ワープロソフトは、短文の名手です。四〇〇字詰め三枚などというのを、まったくきちんとやっつてのけます。字数計算、消したり加えたり訂正等は、しごく簡単です。

(e) 魔法にかかったように、一二〇〇字ぴったりの原稿ができます。そのまま、完璧です。短いのが、大好き、というのがワープロソフトです。

さらに、ワープロソフトは、長文の名手です。どんなに長くなっても、散らかりませんし、整理不能になることもありません。原稿用紙とおさらばなのです。短文を、計算通りにつなげてゆけば、お好みの長文ができます。二二〇〇枚であろうが、二〇〇〇枚であろうが、恐れることはありません。長い、いらつしやい、とワープロソフトがいいいます。

このことは、いうまでもなく、私たちが、「短い」思考も、「長い」思考も、つまり、簡潔に人に訴えることも、体系的・系統的に考え抜くことも、自在にこなすことができるようになった、ということなのです。ある特殊な能力をもった人だけでなく、誰でも、接近できる自在の思考能力をもった、という意味です。

書いたり、考えたりすることで、最大の障害は、書けない、考える能力がない、と自らを、他人を決めつける、心理的な (B) です。でも、ワープロソフトで書いてごらんさい。そんな (B) は、嘘のように消えますよ。

(「自分で考える技術」 鷺田 小彌太より一部抜粋)

問一 傍線部①「胆汁が口にひろがるような、文章を超えたようなの」とはどういう

ことか、次の選択肢ア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア、一見して読みづらいが読むほどに味わい深い文章

イ、不快な、もはや文章とは言いづらいもの

ウ、たやすくは理解できないが、一般的な文章よりも高尚なもの

エ、珍しい言葉や表現が散りばめられた、芸術性の高い文章

オ、読む人のためになる、一般的な文章よりも教育的なもの

問二 カッコⅠ～Ⅴには次の四字熟語のいずれかが一つずつ入る。ⅣとⅤに入る四字熟語を選択肢の中から2つ選べ。ただし順序は問わない。

ア、一目瞭然 イ、無味乾燥 ウ、明晰判明 エ、軽薄短小 オ、簡単明瞭

問三 カッコ内の a と e に入る言葉を次の中から選び、記号で答えなさい（同じ言葉は一度しか使えません）

ア、しかも イ、そうになると ウ、おそらく エ、ところが オ、まるで

問四 第三段落の内容について説明した文として最もふさわしいものをア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア、執筆作業における万年筆の重要性と、その取り扱い方法について述べている。

イ、筆者の過去の作品で出来上がりが悪かったものについての原因と反省を万年筆の利便性ととも述べている。

ウ、思考―書くこと―書く道具の、強いつながりは万年筆にもあるという実体験とともに、万年筆には欠点があることを述べている。

エ、よい新品の万年筆を手に入れさえすれば本数冊分は素晴らしい文章を書くことができることを逆説的に述べている。

オ、ワープロソフトがいかに万年筆に対して優れているかということ、客観的事実を基に述べている。

問五 傍線部②「こんな経験」を詳しく言い換えてどんな「経験」か説明しなさい。「経験」に続くように三十四字以内で答えよ。

（ 34字 ） 経験

問六 カッコAに入るべき慣用句を四字で答えなさい。

問七 傍線部③「書くときよく分かるのは、思考の欠陥です」とあるが、どういうことか、最も適当なものを次の選択肢から選び、記号で答えよ。

ア、書くことは思考の補助となりうるが、同時に人間の思考の限界を明確にしてしまっているということ。

イ、書かないとよく分からないというのは、頭を使っていないということ。

ウ、文章として自分の思考を書き出してみると、おかしな部分が浮き彫りになるということ。

エ、思考の欠陥について列挙して書き出してみると、その問題点がよく分かるということ。

オ、完全に論理的な文章を書いても、すぐに完璧だとは判明しづらいということ。

問八 傍線部④「読点」について、漢字の読み（四字）と意味する符号（一字）を解答欄に書け。

問九 カッコBに入る熟語を次の選択肢ア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア、抑揚 イ、意志 ウ、威圧 エ、圧延 オ、抑圧

問十 本文の内容と一致するものを次のア～オの選択肢から2つ選び、記号で答えなさい。

ア、ワープロを使えば、すらすらと、誰にでも分かる文章を書くことが簡単に実現できる。

イ、新しい万年筆は時間をかけさえすれば、必ず慣れて書きやすくなる。

ウ、谷崎潤一郎、蓮實重彦、倉橋由美子のように特殊な能力を持った人ならばワープロソフトを使う必要がない。

エ、ワープロソフトを使えば、どんなに長い文章の原稿用紙でもきちんと整理できる。

オ、どんなに自由に文を書けると言っても、結局書き手がワープロソフトで書く以上、思考機械とは言えない。

カ、ワープロソフトの普及によって思考と書くことの密接な関係が明確に出来るようになった。

二 次の傍線部の読みをひらがなで記し、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 喘息の増悪が繰り返す
- ② 専門家に匹敵する知識量
- ③ 用件を承る
- ④ 連日の勧誘に辟易する
- ⑤ 肋骨の疲労骨折
- ⑥ ウブユを使わせる
- ⑦ 大国にヒケンする軍事力
- ⑧ 新興国のヤクシン
- ⑨ あまりの仕事量にボウサツされる
- ⑩ 業界のジュウチン

【三】 次のかつこに当てはまる語句を語群から選び、慣用句を完成させなさい。(同じものは二回以上使いません)

- ① () を売る
- ② () が付けられない
- ③ () を持つ
- ④ () を運ぶ
- ⑤ () の程知らず
- ⑥ () を張る
- ⑦ () を澄ます
- ⑧ () に合う
- ⑨ () を丸める
- ⑩ () を縦に振らない

【語群】(足・頭・身・耳・手・口・顔・肩・首・胸)

【四】 後の語群の言葉を必ず一度だけ使い、漢字に直し、対義語・類義語を書きなさい。

【対義語】

- ① 喪失
- ② 諮問
- ③ 模倣
- ④ 詳細
- ⑤ 棄却

【類義語】

- ⑥ 鼓舞
- ⑦ 拔群
- ⑧ 丹念
- ⑨ 奇抜
- ⑩ 日常

【語群】(クツシ・トウシン・ガイリヤク・カクトク・ゲキレイ・トツピ・ジュリ・ヘイソ・ソウゾウ・サイシン)

〔五〕 次の文章を読んで、敬語の使い方として不適当な部分を抜き出し、正しく直しなさい。

- ① 折り返しお電話お与えになります。
- ② ご予約なさられますか？
- ③ 向かって右側を拝見してください。
- ④ 後日そっちに伺います。
- ⑤ それではこちらから直ちにいらっしやいます。

第1回入学選考試験 国語答案用紙

一

受験番号	氏名

問九	問八	問六	問五			問三		問一
	読み					e	a	
問十								問二
		問七				問四	b	
	符号							
小計							c	
							d	

二

⑩	⑦	④	①
	⑧	⑤	②
	⑨	⑥	③
小計			

		⑤	④	③	②	①
		誤	誤	誤	誤	誤
		正	正	正	正	正
合計	小計					

五

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

四

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

三

第1回 入学選考試験 国語解答

- 問一、四、七、九は三点 問二、十は二点×二 問三は二点×五 問五は四点
問六、八は完答三点 (計四〇点)

問九	問八	問六	問五			問三		問一
オ	読み	雲 泥	、 と	の が	あ る	e オ	a ウ	イ
問十	と う	の 差	断 言	書 く	本 の	問四	b	問二
ア	て ん	問七	し た	道 具	で き	ウ	エ	イ
オ	符号	ウ	く な っ た	の せ い で	あ が り が 悪 い		c イ d ア	エ
小計								

採点基準

問五 直前の「私は、ある本のできあがりが悪いのは、つい、万年筆のせいである、と断言したくなつたほです。」という部分(二点)を筆者の経験として書き出す必要がある。「経験」に続く形(二点)であること。また、その際に万年筆という言葉を「書く道具」と抽象化する(ワープロを使えば万年筆のせいでないのは当然であり説明不足である)など、傍線部を言い換えた時に不自然でなければ(一点)良い。

二

各2点

⑩	⑦	④	①
重鎮	比肩	へきえき	ぜんそく
	⑧	⑤	②
	躍進	ろっこつ	ひつてき
	⑨	⑥	③
	忙殺	産湯	うけたまわる

小計

三

各1点

⑩	⑦	④	①
首	耳	足	顔
	⑧	⑤	②
	口	身	手
	⑨	⑥	③
	頭	胸	肩

小計

四

各2点

⑩	⑦	④	①
平素	屈指	概略	獲得
	⑧	⑤	②
	細心	受理	答申
	⑨	⑥	③
	突飛	激励	創造

小計

五

完答各2点

		⑤	④	③	②	①
		(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
		いらっしやい	そっち	拝見してください	なさられますか	お与えになります
		(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
		参り／お伺いし	そちら	ご覧ください	なさいますか	差し上げます
合計	小計					

第二回入試問題

国語

第2回入学選考試験 国語問題

氏名	受験番号

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

エンターテイメントの基本は「サスペンス」にある、というのが僕の持論です。

サスペンスとは、その手の本を調べると「ラテン語の『吊るす』が語源で、気がかり、不安な状態をさし、読者をはらはらせる緊張感の効果をいう」といった具合に説明されています。

□ a サスペンスと聞くと、殺人があつて、主人公が追いこまれて、といったミステリー色の強い作品を連想する人が多いかもしれませぬ。しかし、確かにそれはサスペンスの王道ではありませんが、^①それだけがサスペンスではない気が僕はします。

□ b ラブストーリー。男女が会つて、男が女に恋をする。でも同じタイミグで女を好きになつた恋敵が現れて……。□ c 不倫もの。人目をはばかって男女が逢瀬を重ねる。これらは立派なサスペンスです。なぜなら「この後、どうなるんだ?」「見つかったりバレたりしたら、これはやばいぞ……」と観る者をドキドキさせて、先へと引っぱっていく「何か」がありますから。

□ d、これが最初から男女がくつつついていて、ただただいちゃついている話を観せられても、全くもつて「やれやれだぜ……」です。観ていてハラハラもしないし、その先の展開に対しても興味が湧いてきませぬ。□ e ラブストーリーひとつをとつても、サスペンス要素がなければ面白いラブストーリーにはならないんです。

サスペンスはミステリーだけでなく、バカバカしいコメディの中にも、子供向けのアニメの中にも存在します。サスペンスの要素がストーリーの下敷きになっていたり、スパイスとして盛りこまれている物語は、面白くなつていく。よい物語には必ずサスペンスがあるんです。

なぜ僕がこんなことを考えるに至つたのかといえは、遡ること、若かりしころ。漫画家を志した僕は、「面白い漫画って何だろう?」と考えるようになりました。いや、さらに奥へ進んで「そもそも『面白い』って何だ?」と考えるようになったのです。まず気がついたのは、好きだとか嫌いだとか、流行つているとか流行つていない、あるいは世間から受け入れられているだとか評価されていないだとか、^②そういった要素と「面白い」とは関係ない、ということでした。「面白い」ものには、そうした時代の価値には左右されない、^③不変の法則があるに違いないと考察しました。

そこで僕が研究材料に選んだのが、大好きだった映画です。自分が面白いと感じているものを分析して、ひとつひとつ説明できるようにすれば、「面白い」の正体が見えてくるはず。そして、優れた作家のテクニクを取り入れれば、その「面白い」を自分も漫画で追求できると思つたのです。

自分が好んでいた映画を並べていくと、名監督のヒッチコックであり、当時駆けだしだったスピルバーグであり、映画界に新風を吹きこんでいたデ・パルマであり……。自分にとって「面白い」作品は、謎を解いていく話や、謎に立ち向かって冒険してい

くもの。つまり、ベースにサスペンスがある映画が多いことに気づきました。逆にいまいちだなど感じた映画は、いくつかのSFやアクション系の派手な映画、あるいはきれいな女優がただ出演しているような作品で、そこにはサスペンスの要素が少ないのです。

また、サスペンスを得意とする監督の作品は出来が比較的安定していて、とんでもないはずれがないことも発見しました。中には駄作があつたとしても、それもそれなりに最後まで楽しめてしまうのです。これがいわゆる芸術系の映画の場合、名作は名作だけれど、駄作はとんでもない駄作、ということが多い。

それからというものは、僕は映画を観てはノートを広げ、この時点で登場人物のキャラクターを描いているとか、ここからサスペンスが始まっている、あるいはこのアイテムを使うことでこのような効果を生んでいる、などと研究を重ねていきました。

そして自分なりに研究した結果、サスペンスの重要性と奥深さにたどりついたのです。

よいサスペンス映画は、④五つの条件を満たしている――。これが僕の長年にわたる、研究成果のひとつです。

(中 略)

この五つの条件は、好きか嫌いか、古いか新しいか、邦画か洋画か、ハリウッド映画かカルトムービーか、といった区別とはいっさい関係のない I な条件です。

実際に作品を分析していくと、設定描写は巧みだけれど感情移入できない、謎はありふれているけれど号泣できるなど、各要素に強弱があります。五角形の戦力分析表で表すならば、いびつな形になるわけです。逆にこの五つの要素が揃って、キレイな正五角形を描いたとき、サスペンスの名作が誕生します。僕は映画を観るとき、この条件が揃うかどうかを常に意識していますし、自分が漫画を描くときも、これらを満たすように心がけています。

僕の考えるよいサスペンス映画像をさらに明確にするために、反対にサスペンスに欠ける作品についてもふれておきましょう。そうした作品は俗にいう、ファンタジー映画やアクション映画などに目立ちます。

たとえばある不思議な世界に入っていく、不思議な存在の誰かと出会って、次に誰かと出会って、次に誰かと出会って……そうして話が終わっていく。

または、あるキャラクターが、ワープした、別の宇宙に行った、○○星人がやってきたという展開であつたり、あるアクションスターが戦って、戦って、戦って、そして勝利を収めた、というような映画がそうした作品です。

これらを分析していくと、何をした、何をした、何をした、の連続で、物語を貫くような謎はそれほどありません。この登場人物は怖いな、というスリルはあつても、それが作品全体に波及することがないのです。

誤解のないように断っておくと、僕が言っているのは、II、ということでは決してありません。これらの作品の目的は、個性的なキャラクター、斬新な美術、激しいアクション、独特な世界観などを描いて提示することであつて、それはそれで楽しめるんです。僕もこうした映画を観て、漫画の美術や「スタンド」のデザインの参考にすることもあります。

ただ、僕の「エンターテイメントの基本にはサスペンスがある」という考え方は違うジャンルだということ。だから本書では、^⑤これらの映画が登場しないことをご了承ください。

（「荒木飛呂彦の超偏愛！ 映画の掟」 荒木飛呂彦 より一部抜粋）

問一 空欄 a ～ e に入る語をそれぞれ次の選択肢から一つずつ選び記号で答えなさい。

- ア、 たとえば
- イ、 しかし
- ウ、 もしくは
- エ、 だから
- オ、 つまり

問二 傍線部①「それだけがサスペンスではない」とはどういうことか。次の選択肢から一つ選び記号で答えなさい。

- ア、 ラブストーリーと呼ばれるジャンルも、より大きなサスペンスというジャンルの一つにすぎない。
- イ、 映画の中のシーンにミステリー色が強いシーンがあればそれは立派なサスペンス映画である。
- ウ、 ラブストーリーやコメディだと分類されているものの中にはむしろサスペンス作品だといっていいほどのミステリー性を備えているものもある。
- エ、 観るものを緊張させ、次の展開に興味をひき、引っ張っていくものもサスペンスである。
- オ、 よい物語はすべてサスペンスというジャンルに分類できる。

問三 傍線部②「そういった要素」とはなにか、本文中から五字以内で抜き出して端的に言い換えなさい。

問四 傍線部③「普通の法則」とは結局何か、本文中から五字で抜き出して答えなさい。

問五 傍線部④「五つの条件」については『(中略)』の部分で五つとも紹介されている。それらを箇条書きにしたものが次である。類推し、本文中の言葉を使いながら空欄をそれぞれ埋めなさい。

- 一、 謎
- 二、 主人公に 4字 4字 できる
- 三、 4字 の妙
- 四、 (日常でありながらの非日常の世界としての) ファンタジー性
- 五、 2字 2字 るかどうか

問六 空欄Ⅰに入るのにふさわしい語を次の選択肢から一つ選び記号で答えなさい。

- ア、 主観的
イ、 平均的
ウ、 中性的
エ、 普遍的
オ、 個別的

問七 空欄Ⅱに入る語句としてふさわしいものを、次の選択肢から一つ選び記号で答えなさい。

- ア、 サスペンスがあれば良作
イ、 サスペンスがなければ愚作
ウ、 これら5つの条件がなければサスペンスではない
エ、 これら5つの条件があればサスペンスである
オ、 一時のスリルはサスペンスではない

問八 傍線部⑤「これらの映画」とは何か、11字で抜き出して答えなさい。

問九 次の選択肢の中から、本文の内容と一致するものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、 設定描写が巧みすぎる映画には感情移入できないことが多い。
イ、 筆者が若いとき、漫画よりも映画の方が好きだった。
ウ、 サスペンス映画の満たす五つの条件は漫画にも応用可能である。
エ、 いわゆる芸術系の漫画は出来が比較的安定である。
オ、 ミステリー映画にはサスペンス要素は少ない。

問十 本文章はいくつかの文章のまとめりからなるが、その小見出しを省いている。選択肢に挙げた小見出しから四つ選び、使用する順に並べて、記号で答えなさい。

- ア、 「面白い」とは何か？
イ、 現実世界の不安を直視する
ウ、 サスペンスのない作品
エ、 よい物語には、サスペンスがある
オ、 よいサスペンス、五つの条件

【二】 次の傍線部の読みをひらがなで記し、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 挙措を失う
② 供物を供える
③ 新しい施策
④ 傷を庇う
⑤ 瀘過後の残渣
⑥ キゲンを損ねる
⑦ 要請をコバむ
⑧ ブジヨク的な言葉
⑨ ボンヨウな人物
⑩ タイヨウ年数を上回る

【三】 次のかっこに当てはまる語句を語群から選び、慣用句を完成させなさい。(同じものは二回以上使いません)

- ① () がない
② () を丸める
③ () を見せる
④ () をひねる
⑤ () を入れる
⑥ () が入る
⑦ () を揃えて(返す)
⑧ 無駄 () を叩く
⑨ () が熱くなる
⑩ 脇 () も振らず

【語群】(頭・目・耳・口・顔・首・胸・手・身・足)

【四】 後の語群の言葉を必ず一度だけ使い、漢字に直し、対義語・類義語を書きなさい。

【対義語】

- ① 安全
- ② 概略
- ③ 過失
- ④ 淡泊
- ⑤ 解散

【類義語】

- ⑥ 発祥
- ⑦ 頑丈
- ⑧ 殊勲
- ⑨ 対等
- ⑩ 格言

【語群】（コウミョウ・ゴカク・シヨウサイ・キンゲン・ノウコウ・キケン・キゲン・コイ・ソウケン・シュウゴウ）

【五】 次の文章を読んで、敬語の使い方として不適当な部分を抜き出し、正しく直しなさい。

- ① ぜひ一度ご覧になられてください。
- ② 兄がぜひお会いしたいとおっしゃっていただきました。
- ③ 社長をご紹介していただけますと、ありがたいのですが。
- ④ 資料をお配りしております。あちらでいただいでください。
- ⑤ 待ち合わせの時間はいつになさられますか。

第2回入学選考試験 国語答案用紙

受験番号	氏名

一

問九	問八	問六	問五	問四	問二	問一	
						e	a
問十		問七			問三		b
							c
							d
小計							

二

⑩	⑦	④	①
	⑧	⑤	②
	⑨	⑥	③
小計			

		⑤	④	③	②	①
		(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
		(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
合計	小計					

五

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

四

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

三

第2回 入学選考試験 国語解答

- 一 問一は二点×五 問二は二点 問三・四・六・七・八・九は三点
 問五は完答で各二点×三 問十は完答で四点 (計四〇点)

問九	問八	問六	問五	問四	問二	問一	
ウ	サ ス	エ	感 情	サ ス	エ	e	a
問十	ペ ン	問七	移 入	ペ ン	問三	オ	エ
エ	ス に	イ	設 定	ス	時 代		b
ア	欠 け		描 写		の		ア
オ	け る		泣 け		価 値		c
ウ	作 品						ウ
小計							d
							イ

二 各2点

⑩	⑦	④	①
耐用	拒	かば	きよそ
	⑧	⑤	②
	侮辱	ろか	くもつ
	⑨	⑥	③
	凡庸	機嫌	しきく
小計			

三 各1点

⑩	⑦	④	①
目	耳	首	足
	⑧	⑤	②
	口	手	頭
	⑨	⑥	③
	胸	身	顔

小計

四 各2点

⑩	⑦	④	①
金言	壮健	濃厚	危険
	⑧	⑤	②
	功名	集合	詳細
	⑨	⑥	③
	互角	起源	故意

小計

五 完答各2点

⑤	④	③	②	①
(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
なさられ	いただいて	ご紹介していただけますと	おっしゃって	ご覧になられて
(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
なさい	お受け取り	ご紹介いただけますと・ご紹介くださると	申して	ご覧になって・ご覧

小計
合計

第三回入試問題

国語

第3回入学選考試験 国語問題

氏名	受験番号

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

記憶にはもうひとつ大事なものがあります。何かをやる時の手順の記憶です。

□ a 九九を考えてみてください。誰もが子供の時に暗記させられる、ニンガシ、ニサンガロクのあのククです。九九八十一(クク・ハチジュウイチ)は9カケル9のカケル(X)を省略して覚えているわけですが、□ b $9+9+9+9+9+9+9+9+9+9$ という手順を省略してその答えを覚えてしまっているわけです。四八三十二(シハ・サンジュウニ)は 4×8 、□ c $4+4+4+4+4+4+4+4+4+4$ の省略です。これをいちいち 9×9 すなわち $9+9+9+9+9+9+9+9+9+9+9$ と計算していたのでは身が持ちません。暗記しておいた方が後々ずいぶん助かります。

「カケル」に戻って考えてみますと、これはある手続きを意味しています。たとえば「四に二をカケル」、あるいは「四カケル二」という時のカケルは、「神様に願をかける」、「壁に絵をかける」などというカケルとは違って、「四を二回たす」という手続きを意味します。ほかの意味はありません。われわれの祖先は四カケル二の計算の手間を省くために、四二八(シニガハチ)あるいは二四八(ニシガハチ)という暗記表を作り上げたわけです。

① ワルも同じです。四ワル二のワルは4という数、□ d 四個のモノをふたつに分ける、あるいはふたつに分けるといふ手順を意味しています。四ワル三は四を三つに分けることを意味しています。三なら三つに割れますが、四は三つに割れません。この時は四ワル三の答えは必ず三つに分けるとどうしてもひとつ余るので、答えは一余り一ということになります。

このような、カケルとかワルという手順は一回聞いても覚えられるものではありません。何度も何度も教わって、何度も何度もやってみて、そのうちにその意味が定着してゆくのです。□ I という手順の記憶です。

同じように、記号の操作を手順化したものがいっぱいあります。数学などはほとんどが手順の記憶です。最初はモノのイメージなのです。三個の具体的なリンゴ、あるいは三匹の具体的な犬なのですが、その具体的なイメージから3という数だけが □ II され、概念化されます。

あるいは、最初は三個の具体的なリンゴにもう三個を加えて六個になった、あるいは三匹の犬にもう三匹が寄ってきて六匹に増えたというイメージなのですが、□ e リンゴや犬のイメージは捨てられて、三タス三、または $3+3$ という手順に抽象化されるわけです。

このような手続きを作り上げてしまうと、もう具体的なイメージを喚起する必要はなくなります。代わりに数を数えるやり方だけを覚えておけば、あるいは数を足すやりにかただけを覚えておけば、頭にイメージ出来なかつた量をもイメージ出来るように

なります。

最初は指一〇本くらいの数しかイメージ出来ませんが、アラビア数字の表記法をマスターすれば、一〇〇もイメージ出来、一、〇〇〇もイメージ出来、一〇、〇〇〇、〇〇〇などという量もイメージ出来るようになります。手続きによって意味が喚起出来るようになるのです。日本国家の赤字が何百兆円だと言われてもピンときませんが、一〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇と並べてみると、少しわかったような気になります。実際には目の前に一〇〇兆のモノを並べることは出来ませんが、手順を踏むことで想像力を動員出来るようになります。

文を読んで、理解出来るのも **Ⅲ** を積み上げてきたからです。

今、こうして筆者が書き、一年か二年後にはなんとか本の形となつて、読者のあなたが読んでくださるであろう、この文です。文は単語とは別の意味を運びます。^② いたずらにただ単語を連ねても文にはなりません。

筆者がもし、「^③単語をただなりません文には連ねても」と書いたとしたら、読者のあなたは意味がわからず、なんだこれ、と放り出すでしょう。

「ただ単語を連ねても文にはなりません」と並べるか、「文にはなりません。ただ単語を連ねても」と並べるか、「ただ単語を連ねても、なりません。文には」と並べるかでない、意味はとれません。最後の文はやや苦しいですが、なんとか意味が取れるでしょう。取れない人も出てくるかもしれません。

数学のように世界共通の明白さはなく、かなり暗黙的なものですが、日本語ならば日本人仲間の間にちゃんと単語の並べ方についての約束事が成立していて、その手順にしたがつて言葉を並べないと、相手にはわからないのです。

読む側は単語を順番に頭へ流し込んでゆきますが、流れ方が悪いと、受け取れなくなります。

自分が物心つく前から育ててきた言葉を並べるときの手順と合わないものは、頭が受け入れられません。単語のひとつひとつは意味を運んでいます、そのひとつひとつの意味がつながらなくなります。

「ただ」という単語は「ただ単語を」という順序で入ってくれば、理解出来ますが、「ただなりません」とつながれても、自分の頭にはそんなつなが方の記憶（手順の記憶）はありません。だから思考の流れが停止してしまいます。

このような言葉のつなが方の手順は文法と呼ばれています。文を作るときの、あるいは文を理解するときの法則です。かなり融通の利く経験的法則ですが、やっぱり法則です。この法則を破ると意味がとれなくなります。

「田一枚植えて立ち去る柳かな」

という芭蕉の句は名句として知られています、^④ お恥ずかしいことに筆者には最初なんのこともかさっぱりわかりませんでした。

この句には、話し言葉に使われる単語のつなが方についての手順の記憶は通用しません。

俳句愛好者の人たちが作り上げてきた言葉のつなが方についての約束事、あるいは俳句の読み解き方がわからないと理解出来ないのです。

この句は「田一枚植えて」で一回切つて、水田ひとつ分のイメージを喚起し、そこ

にしゃがみ込んで稲の苗を植えている人たちをイメージします。ついで「立ち去る」を切り取って、その人たちが田植えを終了して帰ってゆく姿をイメージします。最後にそこまでのイメージを消し去って、「植えられ終わった人気のない水田と、その横に立つ柳の木」をイメージします。

このような俳句独特の読み解き方がないと、さっぱりわからないのです。

筆者はこの句を、立ち去る柳とまとめて読んでいました。そのため柳の木が田植えにやってきて、田植えをして、またどこかへ帰ってゆく、という遠野物語みたいなシーンをイメージして、わけがわからなかったことを思い出します。

このように言葉のつなげ方も重要な手順の記憶です。決して一度で覚えられる記憶ではありません。毎日毎日繰り返し返して言葉を聞き、自分も毎日毎日繰り返し言葉を使うという生活の中で、共通のつなげ方が抜き出され、手順の記憶として定着してゆくのです。

繰り返し返しているうちに、脳が手順を抽出してくれる、という言い方も可能でしょう。われわれは文法を文法書によって覚えるものではありません。日常の経験の中で自然に抜き出してゆくのです。文法書はそのようなわれわれ日本人の心に共通する約束事を記録したものにすぎません。

(『わかる』とはどういうことか―認識の脳科学― 山鳥 重 より一部抜粋)

問一 カッコ a く e に入る語をそれぞれ次の選択肢から一つずつ選び記号で答えなさい。

- ア、 つまり
- イ、 さらに
- ウ、 あるいは
- エ、 たとえば
- オ、 そのうち

問二 傍線部①「ワルも同じです」とあるが、何と比べてなにか同じなのか。30字以内で答えよ。

問三 空欄 I に入る文を、次の選択肢ア～オを正しく並び替えて完成させなさい。

- ア、 このやり方で進んで行けば、
- イ、 今浮かんでない答えに到着出来る、
- ウ、 事物の意味や、
- エ、 この問題は正しく処理出来、
- オ、 運動の意味のように視覚的にイメージが浮かぶわけではなく、

問四 空欄Ⅱに入る語を、文中から3語で抜き出して書け。

問五 空欄Ⅲに入る語を、文中から5語で抜き出して書け。

問六 傍線部②「いたずらに」と最も意味の近い言葉を次の選択肢から選び、記号で答えよ。

- ア、 迷惑なことに
- イ、 良い意味で
- ウ、 冗談半分に
- エ、 無駄に
- オ、 悪い目的をもって

問七 傍線部③について、筆者は何のためにこのような文を書いたのか、25字以内で説明しなさい。

問八 傍線部④について、筆者は最初どのようにこの句を解釈したか次の選択肢から一つ選び記号で答えなさい。

- ア、 田を一枚植えるのを見終わって、芭蕉がその場から立ち去ったと解釈した。
- イ、 田を一枚植えた人たちがその場から立ち去り、あとに柳の木だけが残ったと解釈した。
- ウ、 柳さんという人間が田植えをして帰ったのに、柳の木として捉えてしまい、訳が分からなくなった。
- エ、 「柳が立ち去った」と捉え、柳のことが頭の中から消えてしまったと解釈し、「田んぼを一枚植えている間に柳のことをすっかり忘れてしまった。」と受け取った。
- オ、 柳の木が立ち去ったと捉え、柳に手足が生えて田植えをして帰ったという奇怪な様子を想像し、訳が分からなくなった

問九 傍線部⑤について、筆者はなぜこのように読んでしまったと言っているか、次の選択肢から一つ選び記号で答えなさい。

- ア、 この芭蕉の句に限っては、俳句研究家たちが議論を重ねても解釈の仕方に関する諸説存在するから。
- イ、 この芭蕉の句が、ただ単語を連ねているだけで文にはなっていないかったから
- ウ、 この芭蕉の俳句について、遠野物語のようなものだと推測するに至ったが、それ以上考察する知識を持ち合わせていなかったから。
- エ、 筆者には俳句愛好者の人たちが作り上げてきた言葉のつなげ方についての

約束事がわからなかったから

オ、この芭蕉の句には俳句独特の文法が備わっていなかったから

問十 次の選択肢の中から、この文章の内容として正しいものを選び、記号で答えなさい、

ア、掛け算や割り算の計算の手順は、一度聞けばなんとか脳に定着させることができる。

イ、日本語ならば日本人仲間の中にちゃんと単語の並べ方についての約束事が成立しているが、数学のようにには世界共通の面白さはなく、かなり暗黙的なものである。

ウ、文法は経験的法則であり、融通も利くが、これを破ると意味をとれなくなる。

エ、ギリシヤ数字を学ばずに、大きな数字のイメージをつかむのは難しい。

オ、母国語以外の言語の学習する上で、本当の意味で文法を定着させることは難しい。

二 次の傍線部の読みをひらがなで記し、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 相手を煽る
- ② 病巢の摘出
- ③ 舞踊の流派
- ④ 理に適う
- ⑤ 活力が漲る
- ⑥ 新しい組織のハタアゲ
- ⑦ テイボウの工事
- ⑧ 戦略のオオワクが決定する
- ⑨ シツペイ対策センター
- ⑩ カンプなきまでに反論する

【三】 次のかつこに当てはまる語句を語群から選び、慣用句を完成させなさい。(同じものは二回以上使いません)

- ① () を出す
- ② () を割る
- ③ () が飛ぶ
- ④ () を広げる
- ⑤ () が出る
- ⑥ () が持たない
- ⑦ () をそばだてる
- ⑧ () に刻む
- ⑨ () が切れる
- ⑩ () を疑う

【語群】(頭・顔・耳・口・首・手・胸・身・目・足)

【四】 後の語群の言葉を必ず一度だけ使い、漢字に直し、対義語・類義語を書きなさい。

【対義語】

- ① 融解
- ② 受理
- ③ 演繹
- ④ 愛護
- ⑤ 許可

【類義語】

- ⑥ 廉価
- ⑦ 漂泊
- ⑧ 心配
- ⑨ 献身
- ⑩ 儉約

【語群】(ホウロウ・キヤツカ・アンカ・キノウ・シツソ・ギョウコ・ジンリョク・キンシ・ケネン・ギヤクタイ)

【五】 次の文章を読んで、敬語の使い方として不適当な部分を抜き出し、正しく直しなさい。

- ① (社外の相手に対して) 部長の山本から伺っております。
- ② 明日の午後一時にそっちに伺ってもよろしいでしょうか。
- ③ 奥様はそちらにおりますか。
- ④ せっかく我々の案をお選びのですから、ご期待を裏切らないように努めます。
- ⑤ お陰様ですっかり回復しました。父も「よくお礼を申し上げて」とおっしゃっています。

第3回入学選考試験 国語答案用紙

受験番号	氏名

一

問十	問七			問六	問四	問三	問二			問一	
										e	a
	問八										
					問五						b
	問九										c
											d

小計

二

⑩	⑦	④	①
	⑧	⑤	②
	⑨	⑥	③

小計

		⑤	④	③	②	①
		(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
		(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
合計	小計					

五

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

四

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

三

第3回 入学選考試験 国語解答

一 問一は二点×五 問二は五点 問三・四・五・六・八・九・十は三点
問七は四点 (計四〇点)

問十	ウ		。 な た		問六	エ		問四	抽 象		問三	ウ		問二			問一		
	。	な	た	エ		抽	象		ウ	で		を	カ	e	a				
	問八	ら	だ			化			あ	意	ケ	オ	エ						
	オ	な	単		問五		オ		る	味	ル		b						
		い	語			手	エ		。	す	と		イ						
	問九	こ	を			順				る	比		c						
		と	連			の	ア			と	べ		ア						
	エ	の	ね			記				い	て		d						
		例	て			憶	イ			う	、		ウ						
		示	も							点	あ								
		の	文							で	る								
		た	に							同	手								
		め	は							じ	順								
小計																			

採点基準

問二 「カケル」(二点)と「比べて」ある「手順」を意味するという点(三点)で同じであるということが書かれていればよい。問いかけに対してふさわしくない答え方であれば減点(一点)

問七 文法を無視して、あるいはただ単語を並べて(二点)も意味が取れない、文にはならないこと(二点)の例示としてということが書かれていればよい。「何のため」にこのような文を書いたのか」という問いかけに対してふさわしくない答え方であれば減点(一点)

二 各2点

⑩	⑦	④	①
完膚	堤防	かな	あお
	⑧	⑤	②
	懸念	禁止	却下
	⑨	⑥	③
	尽力	安価	帰納

小計

三 各1点

⑩	⑦	④	①
目	耳	手	顔
	⑧	⑤	②
	胸	足	口
	⑨	⑥	③
	頭	身	首

小計

四 各2点

⑩	⑦	④	①
質素	放浪	虐待	凝固
	⑧	⑤	②
	懸念	禁止	却下
	⑨	⑥	③
	尽力	安価	帰納

小計

五

完答各2点

		⑤	④	③	②	①
		(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
		おっしゃって	お選びした	おりますか	そっち	伺って
		(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
		申して	お選びになられた・お選びくださった・お選びいただいた	いらっしゃいますか	そちら	聞いて
合計	小計					

第四回入試問題

国語

第4回入学選考試験 国語問題

氏名	受験番号

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

鏡を覗くと、私の顔は、おや、と思うほど活き活きしている。①顔は、他人だ。私自身の悲しさや苦しさを、そんな心持とは、全然関係なく、別個に自由に活きている。きょうは頬紅も、つけないのに、こんなに頬がぱつと赤くて、それに、唇も小さく赤く光って、可愛い。眼鏡をはずして、そつと笑ってみる。眼が、とつてもいい。青く青く、澄んでいる。美しい夕空を、ながいこと見つめたから、こんなにいい目になったのかしら。しめたものだ。

太宰治が一九三九年に発表した短編『女生徒』の一節である。この短編の語り手である「私」は、どうやら中央線沿線の東京近郊に住んで、お茶の水あたりの女学校に通っているらしい。彼女は父親を亡くした直後である。朝、ひどく憂鬱な気分で見覚めると、嫌々ながら眼鏡をかけ、②「きのう縫い上げた新しい下着」を着る。下着に小さい白い薔薇の花を刺繍しておいたのが、密かな自慢である。彼女は母親譲りの「アンブレラ」と、文房具を入れた「可愛い風呂敷」を手に学校へ出かける。こんな古風な傘をもって、ボンネット風の帽子を被り、黒い絹のレースの長い手袋をして、パリの下町にあるレストランに昼食を食べに行ったら、どれほど素敵だろうと想像してみる。

「私」は本ばかり読んでいて、そのたびごとに別の人間になってしまったような気がする。どれが本当の自分なのかわからない。「女は、自分の運命を決定するのに、微笑一つで沢山なのだ」と思っ、恐ろしいと思うが、一方で「美しさには、内容なんてあつてたまるものか。純粹の美しさは、いつも無意味で、無道徳だ」といつてもたりもする。学校には、小杉先生という「綺麗」な先生がいる。「私」は小杉先生に魅かれていたのだが、先生には「どこか、無理なところがある」と思い、同情している。

放課後、「私」は友だちのキンさんといっしょにこつそりと美容院に行くが、出来あがった髪が気に入らない。「私は、ちつとも可愛くない」と思う。けれどもキンさんが上機嫌で「このまま、見合いに行こうかしら」などといひ出すので、「ほんとに、何も考えない可愛らしいひと」という感想を抱く。帰り際に夕焼けの空を眺めていると、③父親のことが思い出され、気分が高揚してくる。「みんなを愛したい」と涙が出そうなくらいに思い、「美しく生きたい」と口走ってしまう。帰宅すると、飼いい犬のジャピイが井戸端の茱萸を食べているので、④急に、歯ぎしりするほどジャピイを可愛く^④なってしまう。本章の冒頭に引いた一節は、その後、自分の部屋に戻った「私」が鏡を覗いて口にする感想である。その後も「私」は台所に行き、お米を研ぎながら「お母さんが可愛く、いじらしくなって、大事にしよう」と、しんから思う。彼女が夜、物思いに耽りながら蒲団のなかで眠りに落ちてゆくところで、この短編は

終る。

『女生徒』には、短い分量ながら「かわいい」をめぐって、さまざまな用例が登場している。a 「風呂敷」の「かわいい」とは、I という意味である。美容院で気に入らなかった髪形の「かわいい」は II であり、キン子さんをめぐる「かわいい」は、III という、いささか見下した用法である。ジャピイの「かわいい」は IV であり、お母さんの「かわいい」は V という気持ちの表現である。b 冒頭の一節にある「私」の唇の「かわいい」は、VI という意味であり、「私」が下着にこっそりと縫いこんだ「白い薔薇の花」と隠喩の関係を保っている。

c 太宰だなど唸ってしまふのは、彼が表向きは^③「美しさ」について、無理が感じられるとか、道徳や内容を超えたものだという警句を発しながら、その実、「私」を回転軸として「かわいい」のさまざまな変奏を披露しているところである。どの「かわいい」も微妙に異なった陰影のもとにあり、それが語り手である「私」の、^④そのたびごとに別の人間になってしまふような未決定感に対応している。d 身近にある^⑤「かわいい」が、遠くにある^⑥「美しい」とみごとな対位法を演じることによって、作品全体は幕を閉じる。

この作品によって太宰は、一人称で若い女性が独白するというスタイルを確立した。その意味で戦後の^⑥『斜陽』や『皮膚と心』の祖形が、ここには現れている。e 同時にそれは、久生十蘭の『だいこん』に始まり、戦後に書かれることになるあまたの少女小説、ジュニア小説、さらに橋本治の『桃尻娘』から舞城王太郎の『阿修羅ガール』まで、日本の戦後文学にあつて一大ジャンルとなった少女独白小説の^⑤嚆矢ともなった、記念碑的作品である。「かわいい」という主題と^⑥「かわいく」語るという文体がその間にいかに変化発展していったかを辿れば、興味深い文学史が辿れることだろう。

(『かわいい』論 四方田犬彦 より一部抜粋)

問一 傍線部①「顔は、他人だ。」とはどういうことか。本文の内容からわかる最も適切なものを次の選択肢から選び、記号で答えよ。

- ア、 顔が自分の意思で動かないということ。
- イ、 顔は表情を作ることによっていくらでも変化できるということ。
- ウ、 顔は他人に支配されている側面が強いということ。
- エ、 顔が気持ちを反映していないということ。
- オ、 他者からの視点に立って自分の顔を観察するということ。

問二 傍線部①～⑥の括弧の役割の説明として誤っているものを次の選択肢から選び、記号で答えよ。

- ア、 ①の鉤括弧は引用を表す。

- イ、
ウ、
エ、
オ、
- ②の鉤括弧は会話文を表す。
③の鉤括弧は強調を表す。
④の鉤括弧と⑤の鉤括弧は対象物を区別して分かりやすくする。
⑥は二重鉤括弧といい、作品名・タイトル名を表す。

問三 傍線部②「父親のこと」に関する事情がわかる一文を本文から探し、最初と最後の五字を抜き出して書け。ただし、句読点も一字に数える。

問四 カッコ a ~ e に入る語をそれぞれ次の選択肢から一つずつ選び記号で答えなさい。

- ア、 たとえば
イ、 かくして
ウ、 だが
エ、 そして
オ、 さすがに

問五 カッコ I ~ VI に入る、「かわいい」についての説明をそれぞれ次の選択肢から一つずつ選び記号で答えなさい。

- ア、 憐れむべくおめでたい
イ、 好ましく小さい
ウ、 小さくて、可憐で、愛おしさに満ちている
エ、 納得がいくほどに魅力的
オ、 愚かしくも愛くるしい
カ、 哀れで同情に値し、守ってあげたい

問六 傍線部③の内容について書かれている部分を含む段落番号を漢数字で答えよ。

問七 傍線部④「そのたび」とは具体的に何のことか。「たび」に続くように5字以内で考えて書け。

問八 傍線部⑤「嚙矢」は「こうし」と読む。この単語の意味を前後の文から推測し、ふさわしいものを次の選択肢から選んで記号で答えよ。

- ア、 ライバル
イ、 まとめ
ウ、 鳴り響く矢
エ、 物事のはじまり
オ、 物事のおわり

問九 傍線部⑥『『かわいく』語るといふ文体』とはなにか。二〇字以内で抜き出して書け。

問十 次の選択肢ア～オについて、本文中の内容と一致するものを選び、記号で答えなさい。

ア、 太宰治は女生徒が鏡を見る場面を冒頭に置き、物事の順序を前後させて描写する構成をとった

イ、 「私」の下着は手作りで、赤い花の刺繍がしてある。

ウ、 「私」は台所で米を研ぐ母親を見て、いじらしく思った。

エ、 少女独白小説は、戦後の日本の文学において一大ジャンルとなった。

オ、 『女生徒』は戦後文学の中にあつて突出した作品であり、すでに「かわいく」語るといふスタイルは完成されていた。

二 次の傍線部の読みをひらがなで記し、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 異形イヘイの姿
- ② 驚愕オドロクする
- ③ 情ナツメに朧オドロクい
- ④ 造詣ソウゲイが深い
- ⑤ 無地ムヂの便箋
- ⑥ ミニクミニクい家鴨イカドモの子
- ⑦ シンギシンギを確かめる
- ⑧ 崩壊クワダのレンサ
- ⑨ 市中シチュウカンセンカンセンの拡大
- ⑩ タクバツタクバツした技量

三 次のかっこに当てはまる語句を語群から選び、慣用句を完成させなさい。(同じものは二回以上使いません)

- ① () を長くする
- ② 揚げ () を取る
- ③ () を引く
- ④ () に覚えがある
- ⑤ () を冷やす
- ⑥ () を澄ます
- ⑦ () が売れる
- ⑧ () の空く思い

- ⑨ () を開く
⑩ () を向ける

【語群】(頭・顔・耳・口・首・胸・手・目・身・足)

四 後の語群の言葉を必ず一度だけ使い、漢字に直し、対義語・類義語を書きなさい。

対義語

- ① 高尚
② 特殊
③ 歓喜
④ 現実
⑤ 拒絶

類義語

- ⑥ 機転
⑦ 栄養
⑧ 敗走
⑨ 安泰
⑩ 身近

【語群】(ジヨウ・イッパン・ヒキン・テイゾク・キチ・シヨウダク・セイオン・リソウ・タイキヤク・ヒアイ)

五 次の文章を読んで、敬語の使い方として不適当な部分を抜き出し、正しく直しなさい。

- ① ご注文は以上でよろしかったでしょうか。
② お見舞いの品をお送りいたしましたので、どうぞいただきます。
③ 先生がおっしゃられていた事件について、詳しく伺えませんか。
④ お子様はどちらにおりますか。
⑤ 先生がこちらへ参られました。

第4回入学選考試験 国語答案用紙

一

受験番号	氏名

	問九	問七	問五		問四		問三	問一
			V	I	e	a		
								問二
			VI	II		b		
		た					）	
		び	問六	III		c		
小計		問八						
	問十				IV	d		

二

	⑩	⑦	④	①
		⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③
小計				

		⑤	④	③	②	①
		(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
		(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
合計	小計					

五

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

四

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

三

第4回 入学選考試験 国語解答

- 一 問一・二・三・六・八・十は二点 問四は二点×五 問五は二点×六
 問七・九は三点
 (計四〇点)

問九	る	一	本	V	I	e	a	彼	問一
	と	人	を	カ	イ	ウ	ア	女	エ
問七	い	称	読					は	問二
	う	で	む	VI	II		b	父	
問五	ス	若		ウ	エ		エ	親	イ
	タ	い	た					く	
問四	イ	女	び	問六	III		c	後	
	ル	性	問八		ア		オ	で	
問三	問十	が		三	IV		d	あ	
	エ	独	エ		オ		イ	る	
問二		白						。	
問一		す							
小計									

採点基準

問七 読書するという内容であればよい(三点)。ただし、「たび」に続く形でなければ減点(一点) 解答例「本を読む」・「読書をする」

二
各2点

⑩	⑦	④	①
卓拔	真偽	ぞうけい	いぎよう
	⑧	⑤	②
	連鎖	びんせん	きようがく
	⑨	⑥	③
	感染	醜	もろ

三
各1点

⑩	⑦	④	①
目	顔	身	首
	⑧	⑤	②
	胸	頭	足
	⑨	⑥	③
	口	耳	手

四
各2点

⑩	⑦	④	①
卑近	滋養	理想	低俗
	⑧	⑤	②
	退却	承諾	一般
	⑨	⑥	③
	静穏	機知	悲哀

小計

小計

小計

五

完答各2点

		⑤	④	③	②	①
		(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
		参られ	おり	おっしゃられて	いただいて	よろしかった
		(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
		お越しになり・お見えになり・いらっしやい	いらっしやい	おっしゃって	お納め・ご受納・お受け取り	よろしい
合計	小計					

第五回入試問題

国語

第5回入学選考試験 国語問題

氏名	受験番号

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本人はスピーチが □ a 的に苦手です。

ちよつとした挨拶や自己紹介でも恥ずかしがって、 □ b を言えなかったり、反対に延々と退屈なスピーチをしてしまつて、 □ c をかう人もいます。

また「これについて、どう思いますか？」と感想やコメントを求められた時、「むむ……」と貝になつてしまつて気の利いたコメントを返せなかつたために、 □ I で落とされたり、大事な商談のチャンスを逃すこともあるでしょう。

Shy (恥ずかしがり) は自信がなく、ビクビクしている印象を与えます。場合によつては、愚かだと勘違いされることさえあります。

□ II でそれなりの話ができるスピーチ力は、これからの時代を生き抜く必須の力と言えましょう。

およそ日本人は □ III で話すことが苦手な国民ですから、自分で話すのはもちろんのこと、苦手な人たちが話すのを聞く時も、恐ろしく退屈でストレスに感じます。

話すのも恐怖、聴くのも恐怖というかわいそうな日本人の二大ストレスをなくすためにも、なんとか日本人のスピーチのレベル全体を上げというのが私の願いです。

といつても、大統領のような名演説をめざそうというのではありません。

大統領の演説はたいい □ IV ライターが入つていて、人が感動するように書かれています。私たちには無縁の世界です。

最低ラインは恥をかかないこと。

そして相手に良い印象を与えて、できれば「あの人、話がうまいね」という印象に残るようなスピーチ力をつけていただければと思います。

ところで、①なぜ日本人はスピーチやコメントが苦手なのでしょうか。

それは日本には西洋のように人前で話す伝統がなかったからです。

西洋では古代ギリシャの時代から人前で話す文化がありました。

古代ギリシャのポリスの市民たちにとって、人前で演説するのは当たり前前のことでしたし、街なかでもみんながスピーチに近いことをやり続けていました。

プラトンの「饗宴」を読むと、お酒を飲みながら一人ずつ立ち上がつてスピーチする場面が描かれています。

その中に登場するソクラテスの演説はもちろん素晴らしいのですが、ほかの人たちも面白い話をしています。

またシェークスピアの『ジュリアス・シーザー』でも、ブルータスの演説とアントニウスの演説が対比して描かれています。

最初はブルータスがシーザーを殺した正当性をアピールしますが、続くアントニウスの演説のほうの説得力があったので、民衆がブルータスを追放するわけです。

このように西洋では公衆の面前で演説することによって、事の真偽をはっきりさせるという伝統があったのですが、日本では一般の人たちが人前で話す機会はありませんでした。

つまり市民として、そういう力を持つことは必要とされていなかったのです。

しかし、②時代になって鎖国がとけ、西洋の文明が入ってくると、文化が違う人たちの前で自己を主張する必要性が生まれてきました。

福澤諭吉は「スピーチ」を演説と訳し、『学問のすすめ』においていち早くスピーチの必要性を唱えました。

日本人があまりに演説が苦手なので、慶應義塾の中に演説館をつくってスピーチを練習させたくらいです。

『学問のすすめ』が書かれて一四〇年ほどたった今、日本人のスピーチはその時と比べるとだいぶうまくなったようですが、それでもなおスピーチやコメントを求められると、③を感じる人はたくさんいます。

④いきなりハイレベルな演説をめざすのではなく、とりあえずストレスにならない程度の力をつける。⑤そういう高すぎない目標を持つと良いのではないかと思います。

それに落ち着いて考えてみれば、日本人が恥ずかしがり屋だとか、話すのが下手だと引け目を感じてしまうのは、持って生まれた国民性のせいではなく、たまたまその領域を使う機会が少なかったために不得手だったにすぎません。

【サッカーが強い国の人は、勝つのが当たり前だと思つて試合に望むので、勝ち続けます。日本だって野球や経済の世界では強い自信があるから、欧米と堂々と戦えるわけです。

⑥日本人もとりあえず日本語できっちり話すことを練習して、その分野で自信をつけていけば、引け目を感じることはなくなるでしょう。】

(「恥をかかないスピーチ力」 齊藤 孝 より一部抜粋)

問一 空欄 a ～ c に入る語をそれぞれ次の選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|----|-------|
| ア、 | 具体 |
| イ、 | 抽象 |
| ウ、 | 一般 |
| エ、 | 例外 |
| オ、 | 残念なこと |
| カ、 | 皮肉なこと |

キ、 面白いこと
ク、 まともなこと
ケ、 饜蹙（ひんしゆく）
コ、 喧嘩（けんか）
サ、 貧乏（びんぼう）くじ
シ、 好機（こうき）

問二 空欄Ⅰに入る語を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、 筆記試験
イ、 適正検査
ウ、 応募書類
エ、 面接

問三 空欄Ⅱと空欄Ⅲには同じ語が入る。それを本文中から探し出し、書きなさい。

問四 空欄Ⅳに入る語を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、 シナリオ
イ、 ソング
ウ、 コピー
エ、 スピーチ

問五 傍線部①「なぜ日本人は・・・」の指す内容について、本文中から二十四字以内で抜き出し、解答欄に続くように書きなさい。

問六 空欄②に入る語を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、 戦国
イ、 江戸
ウ、 明治
エ、 昭和

問七 空欄③に入る語を、本文中から探し出し、書きなさい。

問八 空欄④に入る接続詞を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、 しかし
イ、 ところで
ウ、 ですから

エ、 とにかく

問九 空欄⑥に入る接続詞を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、 しかし
イ、 ところで
ウ、 ですから
エ、 とにかく

問十 傍線部⑤の「そういう・・・」が表す内容について、本文中から二十字以内で抜き出し、解答欄に続くように書きなさい。

問十一 本文中、【 】内において、一箇所、漢字の誤字がある。それを抜き出し、正しい漢字を、解答欄に合うように書きなさい。

問十二 次の選択肢の中から、この文章の内容に合致するものを、二つ選び、記号で答えなさい。

ア、 ほとんどの日本人は、人前で話すのが苦手な国民です。
イ、 大統領の演説は、たいてい、無難に書かれています。
ウ、 スピーチ力の最低ラインは、恥をかかせないことです。
エ、 西洋では、大昔から人前で話す文化がありました。
オ、 日本人があまりに演説が下手なので、福沢諭吉は、慶應義塾の中に演説館を作って、練習させました。

□ 次の傍線部の読みをひらがなで記し、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 間隙を縫って進む
- ② 僅少の差
- ③ お歳暮のお礼状
- ④ 頻りに誘われる
- ⑤ 尊厳への冒瀆
- ⑥ カンレキを迎える
- ⑦ エモノを捕まえる
- ⑧ 皇国のコウハイこの一挙にあり
- ⑨ ヘンクツの一言居士
- ⑩ 常人の水準以上にタクエツする

【三】 次のかつこに当てはまる語句を語群から選び、慣用句を完成させなさい。(同じものは二回以上使いません)

- ① () につける
- ② () を尽くす
- ③ () を突っ込む
- ④ () をつぐむ
- ⑤ () に書いてある
- ⑥ () を抱える
- ⑦ () を引っ張る
- ⑧ () を丸くする
- ⑨ () を痛める
- ⑩ () を疑う

【語群】(頭・顔・目・耳・口・首・胸・手・身・足)

【四】 後の語群の言葉を必ず一度だけ使い、漢字に直し、対義語・類義語を書きなさい。

対義語

- ① 寡黙
- ② 開放
- ③ 概説
- ④ 乾燥
- ⑤ 欠乏

類義語

- ⑥ 我慢
- ⑦ 遅鈍
- ⑧ 頑健
- ⑨ 専念
- ⑩ 簡単

【語群】(ヨウイ・ニintai・ショウセツ・カンマン・シツジュン・ボットウ・ヘイサ・クッキョウ・タベン・ホウフ)

〔五〕 次の文章を読んで、敬語の使い方として不適当な部分を抜き出し、正しく直しなさい。

- ① (目上の人に対して) ご苦勞様でした。
- ② バス停はどちらでいらっしゃいますか。
- ③ おっしゃられるとおりでございます。
- ④ そう兄がおっしゃっておりますので、日ごろから注意を払ってまいりました。
- ⑤ お客様が予定よりも早くお越しになりました。

第5回入学選考試験 国語答案用紙

一

受験番号	氏名

問十二	問十一	問十	問八	問五	問二	問一	
	↓			から		a	
				問九		問三	b
					問六		
						問四	c
					問七		

小計

つける

二

⑩	⑦	④	①
	⑧	⑤	②
	⑨	⑥	③

小計

		⑤	④	③	②	①
		(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
		(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
合計	小計					

五

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

四

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

三

第5回 入学選考試験 国語解答

一 問一は二点×三 問二・四・六・八・九は二点 問三・五・七・十は三点
 問十一は四点 問十二は四点×二 (計四〇点)

問十二	ア	エ	問十二	ア	エ	問十二	ア	エ
問十一	ウ	問九	問十一	ウ	問九	問十一	ウ	問九
問十	ウ	ウ	問十	ウ	ウ	問十	ウ	ウ
問五	ウ	ウ	問五	ウ	ウ	問五	ウ	ウ
問二	ウ	ウ	問二	ウ	ウ	問二	ウ	ウ
問一	ウ	ウ	問一	ウ	ウ	問一	ウ	ウ

小計

二 各2点

⑩	卓越	⑧	興廢	⑨	偏屈
⑦	獲物	⑤	ぼうとく	⑥	還曆
④	しき	②	きんしょう	③	せいぼ
①	かんげき	①	きんしょう	④	せいぼ

小計

三 各1点

⑩	⑦	④	①
耳	足	口	身
	⑧	⑤	②
	目	顔	手
	⑨	⑥	③
	胸	頭	首

小計

四 各2点

⑩	⑦	④	①
容易	緩慢	湿润	多弁
	⑧	⑤	②
	屈強	豊富	閉鎖
	⑨	⑥	③
	没頭	忍耐	詳説

小計

五 完答各2点

⑤	④	③	②	①
(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
お越しになられ	おっしゃって	おっしゃられる	でいらっしやいますか	ご苦労様でした
(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
お越しになり・いらっしやい・お見えになり	申して	おっしゃる	ですか・でしょうか	お疲れさまでした。

小計
合計

第六回入試問題

国語

第6回入学選考試験 国語問題

氏名	
受験番号	

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私は講義では **I** を使わない。

参考図書として **I** 的な本を指定することはあるが、自分では使わない。

II までの教育では、**I** は必須のアイテムである。

学習指導要領というものがあり、**II** 生なら **II** 生として、**III** 一律にここまで教えなさいと細かく規定されている。

全国、どの **II** でも **IV** 範囲を教え、**IV** 学力をつけるためである。

そのために教科書は便利であり、それに則って授業をしてゆけば、もつとも効率よく **V** を伝えることができる。

教科書は、知識を体系だてて伝えるには、さすがにうまく構成されている。いくら科学の専門家と言えども、教科書なしに、その **V** 体系を生徒たちに誤りなく漏れなく伝えることは **VI** と言わざるを得ない。

しかし^①私は、参考書として読んでおけばいいテキストを示すことはあるが、自分の講義で教科書を使い、それに従って講義を進めることはしない。

それは、一つには、教科書に書いてあることは教科書を読んでもらえばいいと考えるからである。

IV 内容を、講義のなかで繰り返す必要はない。

VII の無駄である。

^②教科書を読んでわからなければ、教師に質問にすればよいのであって、自分ひとりで理解できることを、わざわざ教師が繰り返す必要はない。

教師はそこまで親切である必要はなく、あつてはならないとまで考えている。高校までとは違うのである。

実は、私自身、細胞生物学の分野でいくつかの教科書を編纂したり、執筆したりしているの、これはある意味、はなはだしい自己 **VIII** であるが、私の書いた教科書は、参考書として使ってもらえればいいと思っている。

【大学の教師は、教科書にはまだ書かれていない、自分にもまだ十分にはわかっていない、ぎりぎりのところを学生に伝えようとするところに、その本来の使命があると思っている。

それが魅力的な講義になるはずだというのが謂わば私の新念である。

私の同僚であった吉田賢右（まさすけ）先生は、

「どんな教師でも、三回質問すれば、答えに窮する」と、言っておられた。真実だと思う。」

質問する。

先生が答えてくれる。

それに対して、もう一度質問する。

それを三回繰り返し返せば、先生といえども、誰も自分では答えられない領域に踏み込まざるを得ないというのである。

私は、吉田先生の名言だと思っている。

まさにそのようなぎりぎりの線で講義をしている教師にこそ、魅力はあると言わなければならないだろうか。

間違いないことだけを伝えている先生は、いかにうまく教えられても、親切丁寧でも、魅力的だとは言えないだろう。

それを見分けるには、まず質問を試してみることである。

(「知の体力」 永田和宏 より一部抜粋)

問一 空欄Ⅰに入る語を、本文中から探し出し、書きなさい。

問二 空欄Ⅱに入る語を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、 小学校
- イ、 中学校
- ウ、 高校
- エ、 専門学校

問三 空欄Ⅲに入る語を、本文中から探し出し、書きなさい。

問四 空欄Ⅳに入る語を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、 異なる
- イ、 個別に
- ウ、 同じ
- エ、 役に立つ

問五 空欄Ⅴに入る語を、本文中から探し出し、書きなさい。

問六 空欄Ⅵに入る語を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、 単純
- イ、 簡単
- ウ、 やさしい
- エ、 むずかしい

問七 傍線部①「私は、参考書として・・・」の理由について、本文中から三十字以内で抜き出し、解答欄に続くように書きなさい。

問八 空欄Ⅶに入る語を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、 経費
- イ、 仕事
- ウ、 若さ
- エ、 時間

問九 傍線部②の「教科書を読んでわからなければ」、どうすればよいか、本文中から十五字以内で抜き出し、解答欄に続くように書きなさい。

問十 空欄Ⅷに入る語を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、 満足
- イ、 中心
- ウ、 保身
- エ、 矛盾

問十一 本文中、【 】内において、一箇所、漢字の誤字がある。それを抜き出し、正しい漢字を、解答欄に合うように書きなさい。

問十二 次の選択肢の中から、この文章の内容に不適當でないものを、二つ選び、記号で答えなさい。

- ア、 教科書に書いてあることと同じ内容を、講義のなかで確認する必要はない。
- イ、 私の書いた教科書は、参考書として買ってもらえればいいと思っている。
- ウ、 どんな教師でも、三回質問すれば、答えに悩まない。
- エ、 私自身、細胞生理学の分野でいくつかの教科書を編纂したり、執筆したりしている。
- オ、 間違いのないことだけを伝えている先生は、魅力的だとは言えないだろう。

二 次の傍線部の読みをひらがなで記し、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 団体行動を厭う
- ② 下町界限の散策
- ③ 自惚れの代償
- ④ 言葉を反芻する
- ⑤ インフルエンザに罹患する
- ⑥ 液体中にキホウが生じる
- ⑦ カンビな誘惑
- ⑧ フリカエ休日
- ⑨ 危険をカイヒする
- ⑩ 突然のフホウに接し、哀悼の意を表す

三 次のかっこに当てはまる語句を語群から選び、慣用句を完成させなさい。(同じものは二回以上使いません)

- ① () 向けできない
- ② 二の () を踏む
- ③ () に染みる
- ④ () を貸さない
- ⑤ () の支えが下りる
- ⑥ () が下がる
- ⑦ () を見張る
- ⑧ () を抜く
- ⑨ () が回らない
- ⑩ () を挟む

【語群】(頭・顔・目・耳・口・首・胸・手・身・足)

【四】 後の語群の言葉を必ず一度だけ使い、漢字に直し、対義語・類義語を書きなさい。

対義語

- ① 過去
- ② 鈍重
- ③ 凡才
- ④ 拡大
- ⑤ 隠蔽

類義語

- ⑥ 発達
- ⑦ 星霜
- ⑧ 激励
- ⑨ 変遷
- ⑩ 親切

【語群】（コブ・シユクショウ・ミライ・エンカク・イツザイ・コウイ・キビン・シンポ・バクロ・サイゲツ）

【五】 次の文章を読んで、敬語の使い方として不適当な部分を抜き出し、正しく直しなさい。

- ① いつ頃帰宅いたしますか。
- ② 祖父が昨晩、逝去いたしました。
- ③ 先生はどちらにおりますか。
- ④ たくさんのお客様が拝見しました。
- ⑤ どちらにご相談なされますか？

第6回入学選考試験 国語答案用紙

一

受験番号	氏名

	問十一	問九	問七			問四	問一
	↓					問五	問二
		よい					
		問十				問六	問三
小計	問十二		から				
			問八				

二

	⑩	⑦	④	①
		⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③
小計				

		⑤	④	③	②	①
		(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
		(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
合計	小計					

五

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

四

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

三

第6回 入学選考試験 国語解答

一 問一・二・三・四・五・六・十は三点 問七・九は四点 問十一は五点
問十二は各二点 (計四〇点)

	問十一		問九	問七			問四	問一
	新念		教	い	教	教	ウ	教科書
			師	と	科	科		
	⇩	よい	に	考	書	書	問五	問二
			質	え	を	に		
	信念	問十	問	る	読	書	知識	ウ
			に		ん	い		
	小計	エ	く	から	で	て	問六	問三
			れ		も	あ		
	ア		ば	問八	ら	る	エ	全国
						え		
	オ			エ	ば	と		
						い		

⑩	⑦	④	①
厚意	歲月	縮小	未来
	⑧	⑤	②
	鼓舞	暴露	機敏
	⑨	⑥	③
	沿革	進歩	逸材

四

各2点

小計

⑩	⑦	④	①
口	目	耳	顔
	⑧	⑤	②
	手	胸	足
	⑨	⑥	③
	首	頭	身

三

各1点

小計

⑩	⑦	④	①
訃報	甘美	はんすう	いと
	⑧	⑤	②
	振替	りかん	かいわい
	⑨	⑥	③
	回避	気泡	うぬぼ

二

各2点

小計

五

完答各2点

		⑤	④	③	②	①
		(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
		なさられ	拝見し	おり	逝去いたしました	帰宅いたしましたか
		(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
		なさい	ご覧になり	いらつしやい	死去（永眠・他界）いたしました・亡くなりました	帰宅なさいますか・お帰りになりますか・ご帰宅されましたか
合計	小計					

第七回入試問題

国語

第7回入学選考試験 国語問題

氏名	受験番号

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私は現在、大学で主に臨床心理系の講義を担当しておりますが、もともとは精神科医です。3年前に現大学に赴任するまで少年院で法務技官として勤務してきました。その前は大阪の公立精神科病院に児童精神科医として勤務していました。そこでは外来や入院病棟で発達障害、被虐待、不登校、思春期の子たちなどを診察していました。その病院は関西の基幹病院とも言える規模だったので、あらゆる症例をみてきました。発達障害の専門外来では、申し込んでから初診の順番が来るまで4年待ちという状態で、病院としてほとんど機能していません。患者が集まってきていたのです。児童だけでなく、殺人などの重大犯罪を行った成人や少年の精神鑑定を行う機会もあり、とてもやり甲斐を感じていました。

① 当時、ある施設へ定期的に出向いて診察や発達相談などを行っていたのですが、そこで発達障害をもった一人の少年に出会いました。その少年は性の問題行動を抱えていました。年齢にかかわらず、とにかく女性の身体を触ってしまうというこだわりがあったのです。幼女や女性が集まりそうな場所に行っては、相手を見つけて触るという行為を繰り返していたのです。② その少年との出会いが、結果的には私の人生の方向を大きく変えることになりました。

私はその施設で彼の継続治療を行うことになりました。a、当時、認知行動療法に基づいて北米で作成され、効果が期待されていたI防止のためのワークブックを日本語に翻訳し、それを使って一緒に治療を進めていくことにしました。並行して病院の外来にも来てもらい、さまざまなストレスを抑えるための薬物療法も行いました。

認知行動療法とは、③ 思考の歪みを修正することで適切な行為・思考・感情を増やし、不適切な行為・思考・感情を減らすことや対人関係スキルの改善などを図る治療法の一つで、心理療法分野では効果的であるとされています。

b、AさんがBさんに挨拶して、④ Bさんから返事がなかったとします。そこでAさんは「Bは僕をワザと無視した。僕のことを嫌いなのだ」と考えたと怒りが出てきて、今度はAさんがBさんを無視したり、意地悪したりするかもしれません。そこで認知行動療法ではAさんに違った考え方をしてもらいます。「ひよっとして僕の声が小さかったからBさんが気づいていないのでは?」「Bさんは何か考え事に夢中になっていて気づかなかったのでは?」などです。こう考えると、Aさんは「それなら仕方ない。もう1回大きな声で挨拶してみよう」と考え、再度挨拶するかもしれません。そこでBさんが返事をしてくれれば、Aさんは「Bは僕をワザと無視した。僕のことを嫌いなのだ」といった思考が歪んでいたことに気が付きます。c、その後にはより適切な行為・思考・感情に繋がっていくこととなります。同時に挨拶の仕方

といった対人関係スキルの改善にも繋がります。

このように考え方を变えることでより好ましい行動に繋げていく認知行動療法は、性加害者への治療プログラムの根幹にもなっています。性加害者は、性に対して歪んだ思考（「実は女性は襲われたいと思っっている」等）をもっていたり、対人関係において「社会の人たちは皆敵だ」「自分は皆から避けられている」「自分には価値がない」といった攻撃的、被害的思考をもっている場合があります。そういった歪んだ思考が性加害行為に繋がっている可能性があります。そこで認知行動療法を使ってそういった歪んだ思考を修正して好ましい行動に変えていくのです。私が彼に使っていたワークブックも、まさにそういった方法に基づいて作成されていたのです。

その少年はワークブックを終えるたびに「分かりました」と答え、また外来でも「もうしません」と真剣に繰り返すので、「今度こそ大丈夫だ」と思うことも度々だったのですが、状況は全く変わりませんでした。次の診察で会う時までには何らかの性の問題を起こすということが何度も続いたのです。どうして変わらないのだろうか、と思ひ悩む日々が続きました。後になってその原因が分かったのですが、彼は知的なハンデイも併せてもっていたために認知機能が弱く、ワークブック自体がしつかりと理解できていなかったのです。

認知行動療法は「認知機能という能力に問題がないこと」を前提に考えられた手法です。認知機能に問題がある場合、効果ははつきりとは証明されていないのです。d 認知機能に問題があるというのはどんな子どもたちか。それが発達障害や知的障害をもった子どもたちなのです。つまり発達障害や知的障害をもった子どもたちには、認知行動療法がベースとなったプログラムは効果が期待できない可能性があるのです。でも実際に現場で困っているのは、そういった子どもたちなのです。

ではどうしたらいいのか。⑤ 答えは病院にはありませんでした。病院は世間では最後の砦のように思われていますが、実は発達障害や知的障害をもち様々な問題行動を繰り返す少年に対しては、結局は投薬治療といった対症療法しかなく、根本的に治すことは困難なのです。

私は、病院でできることが限られていることを痛感してから悶々とした日々を過ごしていました。他にも殺人や殺人未遂などを行った発達障害をもった少年たちの精神鑑定に携わり、彼らの犯行に至った背景や問題点はよく分かるのですが、具体的にどう支援すればいいのかについては、皆目見当がつきませんでした。投薬以外の個別カウンセリング、認知行動療法、作業療法などで解決するとは到底思えず、かといってそれ以外のノウハウもありません。そういった治療を専門にしている医療機関や医師も、国内で調べる限り見当たりませんでした。そこで色々と調べていくうちに、そういった少年たち——発達障害や知的障害をもち非行を行った少年たち——が集められる矯正施設（医療少年院）が、三重県にあるのを知ったのです。

発達障害、知的障害をもつ子どもたちの保護者や支援者にとって、少年院は最も行って欲しくない場所かと思えます。⑥ 障害をもった子どもたちは本来、大切に守り育てないといけない存在です。それなのに加害者となって被害者を作り、矯正施設に入れられてしまうのです。e 「教育の敗北」と言っている状況です。そういった「最悪の結末とも考えられる施設」に行けば、何か支援のヒントが見つけれられるのではな

いか。藁にもすがる思いで、それまで勤めていた精神科病院を辞め、医療少年院に赴任することになりました。

公立精神科病院で児童精神科医として勤めていた私は、児童・青年のことは一通り分かったつもりになっていましたが、少年院に来てみて実はまだ殆ど何も知らなかったことに気付きました。

同じ発達障害の子でも病院とは全く違うことが問題になっていたこと、病院を受診する児童・青年は比較的恵まれた子どもたちであることなども知りました。もちろん虐待を受けた子どもたちもいましたが、基本、病院には保護者や支援者がいるからこそ連れてこられるわけです。問題があっても病院に連れてこられず、Ⅱという現状があったのです。現在の特別支援教育を含めた学校教育がうまく機能していなかったのです。

（「ケーキの切れない非行少年たち」宮口幸治 より一部抜粋）

問一 傍線部①「当時」筆者は何をしていたか、適切なものを次の選択肢から選び、記号で答えよ。

- ア、 大学で勤務しながら医療少年院に出席していた。
- イ、 大学で勤務しながら臨床心理系の講義を担当していた。
- ウ、 少年院で勤務しながら臨床心理系の講義を担当していた。
- エ、 大阪の公立精神科病院で勤務しながら医療少年院に出席していた。
- オ、 関西の基幹病院とも言える病院の外来や入院病棟で診察していた。

問二 傍線部②とあるが、なぜそう言えるのか、説明として最も適切なものを次の選択肢から選び、記号で答えよ。

- ア、 その少年の治療のために日本で初めて性加害防止のためのワークブックを使った治療を行ったから。
- イ、 その少年の治療を通して薬物療法の限界を痛感し、認知行動療法を試すきっかけとなったから。
- ウ、 その少年の治療を通して認知行動療法と薬物治療を同時に行う手法を確立し、のちに大学に赴任するきっかけとなったから。
- エ、 その少年の治療を通して得た経験がそれまで勤めていた精神科病院を辞め、医療少年院に赴任する決心につながっていったから。
- オ、 その少年との出会いがなければ、大学での治療だけに満足し、医療少年院のような特殊な症例ばかり集まる所での経験を積むことができなかったから。

問三 空欄 a ～ e に入る語をそれぞれ次の選択肢から一つずつ選び記号で答えなさい。

- ア、例えば
- イ、まさに
- ウ、では
- エ、そこで
- オ、すると

問四 空欄 I にあてはまる語を、次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- ア、知的障害
- イ、発達障害
- ウ、性加害
- エ、性被害
- オ、虐待

問五 傍線部③「思考の歪み」とあるが、ここでいう歪んだ思考とはどのような思考か説明しなさい。(30字以内)

問六 傍線部④「Bさんから返事がなかった」のはなぜか、理由の考察として最も適切なものを次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- ア、Aさんの認知に歪みがあるから。
- イ、Aさんの声が小さかったから。
- ウ、Aさんが無視をしたから。
- エ、Bくんのが嫌いだから。
- オ、理由は不明である。

問七 傍線部⑤「答え」とあるが、何に対する答えなのか。もつとも適切なものを次の選択肢から選び、記号で答えよ。

- ア、投薬治療の効かない少年たちに、ほかにどのような対症療法があるのかという問題
- イ、担当した少年の認知機能が低いという問題
- ウ、発達障害や知的障害をもち非行を行った少年たちに、具体的にどう支援すればいいのかという問題

- エ、認知機能が低い少年に対して認知行動療法を行ってしまったという問題
- オ、病院では結局採れる選択肢が少ないという問題

問八 傍線部⑥「障害」と同じ意味のカタカナを本文中から探し、五字以内で答えなさい。

問九 空欄Ⅱに入る文章を次の選択肢を正しい順に並び替えて完成させなさい。

- ア、 学校でイジメに遭い、
- イ、 警察に逮捕され、
- ウ、 障害に気づかれず、
- エ、 非行に走って加害者になり、
- オ、 そこで初めてその子に「障害があった」と気づかれる、
- カ、 更に少年鑑別所に回され、

問十 次の選択肢ア～オについて、本文中の内容と一致するものを選び、記号で答えなさい。

- ア、 認知行動療法は薬物治療よりも効果は薄い。
- イ、 殺人や殺人未遂などを行っても発達障害があれば大切に守り育てなければいけない。
- ウ、 同じ発達障害でも、病院と医療少年院では全く症状が違っていた。
- エ、 攻撃的な思考も被害的思考も、性加害行為に繋がる恐れのある歪んだ思考の一つである。
- オ、 発達障害の子どもで病院に受診できるのは基本、病院関係者の子供だけであつた。

二 次の傍線部の読みをひらがなで記し、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 哀惜の念に堪えない
- ② 周囲を慮る
- ③ 形而上的な世界
- ④ 爵位を世襲する
- ⑤ 饒舌が過ぎる
- ⑥ シュクハイを挙げる
- ⑦ エンバン投げの選手
- ⑧ ビリヨクを尽くす
- ⑨ 靴をハク
- ⑩ マイゾウ金

【三】 次のかつこに当てはまる語句を語群から選び、慣用句を完成させなさい。(同じものは二回以上使いません)

- ① () を出す
- ② () を運ぶ
- ③ () につまされる
- ④ () に入れる
- ⑤ () を躍らせる
- ⑥ () を磨く
- ⑦ () を細める
- ⑧ () が利く
- ⑨ () を利く
- ⑩ () を傾げる

【語群】(頭・顔・目・口・首・胸・身・腕・手・足)

【四】 後の語群の言葉を必ず一度だけ使い、漢字に直し、対義語・類義語を書きなさい。

対義語

- ① 快諾
- ② 自立
- ③ 栄転
- ④ 増加
- ⑤ 理論

類義語

- ⑥ 粗相
- ⑦ 拘泥
- ⑧ 邂逅
- ⑨ 準備
- ⑩ 墨守

【語群】(ソウグウ・ゲンショウ・イゾン・シタク・サセン・シツパイ・ケンジ・ジッセン・コジ・シュウチャク)

⑤ 次の文章を読んで、敬語の使い方として不適当な部分を抜き出し、正しく直しなさい。

- ① 番号札をお取りして、奥の席から順にお掛けになられてお待ちください。
- ② サイズはどちらにいたしますか？
- ③ 本日そっちに伺います。
- ④ 山田様の申す通りにいたします。
- ⑤ 先生の寄稿をご覧しました。

第7回入学選考試験 国語答案用紙

一

受験番号	氏名

問十	問九	問七	問五			問三		問一
	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓					e	a	
		問八						問二
						問四	b	
			問六				c	
							d	

小計

二

⑩	⑦	④	①
	⑧	⑤	②
	⑨	⑥	③

小計

		⑤	④	③	②	①
		(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
		(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
合計	小計					

五

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

四

		⑩	⑦	④	①
			⑧	⑤	②
		⑨	⑥	③	
小計					

三

二 各2点

⑩	⑦	④	①
埋蔵	円盤	せしゅう	あいせき
	⑧	⑤	②
	微力	じょうぜつ	おもんばか
	⑨	⑥	③
	履	祝杯	けいじじょう

三 各1点

⑩	⑦	④	①
首	目	頭	手
	⑧	⑤	②
	顔	胸	足
	⑨	⑥	③
	口	腕	身

四 各2点

⑩	⑦	④	①
堅持	執着	減少	固辞
	⑧	⑤	②
	遭遇	実践	依存
	⑨	⑥	③
	支度	失敗	左遷

小計

小計

小計

五

完答各2点

		⑤	④	③	②	①
		(誤)	(誤)	(誤)	(誤)	(誤)
		ご覧	申す	そっち	いたしますか	お掛けになられて
		(正)	(正)	(正)	(正)	(正)
		拝読	おっしゃる	そちら	なさいますか	お掛けになって・掛けられて・お掛けして
合計	小計					